

# サンクチュアリセンターニュース



8月20日に第5回伊豆沼・内沼自然体験講座「伊豆沼漁師体験」を開催しました。沼の漁師が行なう、定置網漁やつかご漁を体験しました。つかご体験では参加した小学生10名が夢中になってコイやフナを追いかけていました。

vol.87

平成29年9月号

## 低温による作物への影響が心配されています

先日の河北新報の記事にも出ていましたが、東北地方では7月下旬から曇りの天候が続き、日照不足や低温による農作物への影響が心配されています。ところで、農学の分野では積算温度というものを収穫時期や栽培適期の目安とするそうです。昨年の伊豆沼では、5月から8月の積算温度は1471 (°C・日) ですが、今年の積算温度は1043 (°C・日) なので、2016年比でマイナス428 (°C・日) となっています。過去の研究例では、イネ (ササニシキ) の場合、植え付けから出穂までの有効積算温度は880 (°C・日) だったそうです。この結果を当てはめると、平均気温が25°Cなら今年では昨年と比べて出穂の現状と大きくかけはなれているが、また伊豆沼周辺の栽培ハスも生長が遅れているそうです。

今年の伊豆沼は、ハスの開花が遅れ、花数も少ない状況となっています。イネなどと同様に、低温の影響を受けたのかもしれません。

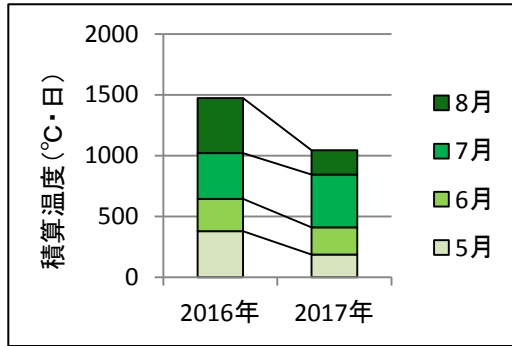


写真 (左)  
花数が少ない今夏の伊豆沼

図 (右)  
2016年と2017年の有効積算温度の比較(5~8月)

## 千葉科学大学より研修生が来ました！



インターンシップで生物調査をする小野寺さん (左)

サンクチュアリセンターでは、大学等からのインターンシップ生を受け入れています。8月には千葉科学大学から小野寺樹弘さんが研修に来られました。大学で水環境に関心を持って学んでいる栗原市出身の小野寺さん。インターンシップを受けて、「私は幼少の頃より、この伊豆沼、内沼の自然に親しんできましたが、このインターンシップを通じて沼のことをより深く知ることができました。沼の貴重な自然やさまざまな問題について、地元に住んでいても知らなかったことはたくさんあり、もっと多くの方に知っていただくべきだと考えました。そして地域とそこに暮らす人と生き物たちが密接に関わっていくことが重要だと改めて考えさせられました。財団の皆様にはとても良い経験をさせていただきました。ありがとうございます。」とのこと。伊豆沼で学んだことを活かして今後も活躍して欲しいと思います。

# みやぎ総文祭で伊豆沼視察

宮城県初の開催となったみやぎ総文祭で、8月3日に伊豆沼視察が行われました。さまざまな視察コースの中、伊豆沼には北海道から沖縄まで各都道府県を代表する自然科学部の高校生66名、教諭20名が訪れました。伊豆沼の自然や保全についての講話のほか、植物の系統保存の方法、バス駆除によって増加した魚介類の観察など、保全の最前線の現場の様子を体験しました。地元で魚類の再生などの保全活動に取り組んでいる部もあり、みなさん熱心に勉強していました。



研究員の説明を聞き、水生植物の植栽や外来魚の駆除を体験する高校生の皆さん

## 平成29年度 伊豆沼・内沼自然体験講座のお知らせ

10月1日(日)より第7~10回の申込みを受け付けいたします。詳細等につきましては、下記までご連絡ください。

第7回・8回 ガンの飛び立ち観察会 & ラムサル湿地見学ツアー  
 日時:11月 5日(日) 5:30~12:00  
 11月19日(日) 5:30~12:00

平成29年度 伊豆沼・内沼自然体験講座  
 参加者募集

第9回・10回 ガンの飛び立ち観察会 & 沼歩き探鳥会  
 日時:12月 2日(日) 6:00~10:00  
 1月13日(日) 6:00~10:00



## 伊豆沼・内沼生き物図鑑 ネクイハムシ

伊豆沼・内沼には多様な湿地が残っていますが、そのような湿地を好んで生息しているネクイハムシという仲間がいます。このハムシの幼虫が「植物の根を食う」ことから、ネクイハムシという名前がついたようです。

伊豆沼・内沼には、宮城県に生息するネクイハムシの約半数の6種が生息しています。伊豆沼・内沼では身近な昆虫ですので、機会があれば観察してみてください。



**キヌツヤミズクサハムシ**  
 5月から6月にスゲ類の花にみられます。



**イネネクイハムシ**  
 7月から9月にハスやヒシなどの葉にみられます。

**ヒラタネクイハムシ**  
 5月から6月にスゲ類の花で見られます。スゲの開花に合わせて出現するため、タイミングが合わなければ見ることが難しいようです。

(ごめんない、写真はありません)

### 宮城県のネクイハムシ

宮城県には約13種のネクイハムシが生息しています。

- ・オオミズクサハムシ
- ・キヌツヤミズクサハムシ
- ・シラハタミズクサハムシ
- ・フトネクイハムシ
- ・クロガネネクイハムシ
- ・キンイロネクイハムシ
- ・ツヤネクイハムシ
- ・ヒラタネクイハムシ
- ・ホソネクイハムシ
- ・コウホネネクイハムシ
- ・ガガフタネクイハムシ
- ・イネネクイハムシ
- ・アカガネネクイハムシ



**アカガネネクイハムシ**  
 5月から6月にフトイの花にみられます。



**ホソネクイハムシ**  
 5月から7月にミクリの葉にみられます。



**フトネクイハムシ**  
 6月から7月にフトイの花にみられます。

### <事務局>

〒989-5504宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2  
 (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団  
 Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217

ホームページ:<http://izunuma.org/>  
 E-mail:[izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)